

JA 仙台 稲作情報 第 3 号

ひとめぼれの生育については、6 月上旬より気温が平年を上回り高温で推移したため、幼穂形成期の目標茎数を確保しており早いところでは葉色が落ちてきており幼穂形成期に入っております。

ひとめぼれの中干し期間はそろそろ終了ですが、入水する場合は少量づつ入水し間断灌水を実施して飽水管理を徹底してください。つや姫の中干しはこれから実施時期となります。

1) 生育調査結果 (7/7 現在)

() 内平年比較値

地点	品種	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本／株)	葉色 (GM 値)	幼穂長 (mm)	調査機関
仙台市	ひとめぼれ	5/22	59.0 (105%)	26.9 (85%)	38.3 (-0.9)		仙台農改
		5/12	68.6 (110%)	27.4 (86%)	37.6 (0.2)	1	JA 調査圃
名取市		5/18	57.1 (116%)	25.2 (95%)	46.1 (2.5)		亶理農改
		5/4	70.4 (106%)	30.4 (114%)	31.6 (-12)	1	JA 調査圃
亶理町		5/11	68.8 (110%)	32.7 (134%)	41.0 (2.8)	1	JA 調査圃
山元町		5/18	53.9 (107%)	23.5 (104%)	42.5 (-1.5)		亶理農改
岩沼市	つや姫	5/15	63.6 (116%)	26.2 (101%)	40.4 (-2.1)		亶理農改
亶理町	だて正夢	5/7	66.9 (104%)	30.1 (90%)	42.8 (-2.0)		亶理農改

※普及センターについては 7 月 1 日現在での調査値となります。

2) 今後の栽培管理

○葉色が今後低下することが予想されますので、圃場を観察し適切な追肥を行い穂揃期の葉色維持に努めましょう。

- ・追肥時期の葉色、品種ごとの時期及び施肥量については、表 2、表 3 を参考にしてください。
- ・生育が異なりますので、幼穂長による生育ステージを確認してください。
- ・復元田の場合、倒伏が懸念されますので、追肥は控えて下さい。

表 2 生育ステージにおける葉色の目安 (葉色板値) 参考：幼穂長 1～2 mm、出穂 20～25 日前

品種	幼穂形成期	減数分裂期
ひとめぼれ	38～40	35～37
ササニシキ	34～36	32～34
まなむすめ	35～37	36～38

表 3

品種	幼穂形成期	減数分裂期
ひとめぼれ	1.0kg	1.0kg
ササニシキ	—	1.0kg～1.5kg
まなむすめ・つや姫	2.0kg	—

病害虫防除

○ 斑点米カメムシ類・水田周辺の雑草地や法面等では、斑点米カメムシ類の密度を抑制するため、7 月中旬までに草刈りを行いましょう。出穂前後の畦畔の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田内に追い込むことになるため、出穂 10 日前までに行います。出穂期の予測を参考に作業の計画を立てましょう。

又、必要に応じて薬剤散布による補完防除を実施して下さい。

※ 散布農薬については最寄りの営農センターへお問い合わせください。

☆ 環境保全米栽培に取り組まれている方⇒病害虫・追肥等を実施する場合は、最寄の営農センター等にご相談下さい。

規定以上の肥料・農薬を施用した圃場は、慣行栽培となりますので注意して下さい！